

教科書

チェック!

by 日本原子力学会

から考える

事故原因って解明されたの？

2015年3月 日本原子力学会教育委員会

参考資料①

新学習指導要領に基づく 高等学校教科書の原子力関連記述に関する調査と提言

という文書があります。

今年度から使われる高校教科書(地理歴史科、公民科)の原子力関連記述をチェックし、5つの提言をまとめ、各教科書の記述にツッコミを入れています。その提言のひとつに。

提言1

福島第一原子力発電所事故を教科書に取り上げるとき、その内容は、国や公的な諸機関の報告書に基づいて記述をして頂き、**極力正確で公正な扱いをされることを要望**いたします。

(本文の一部から)

...地震は事故の直接の原因ではないことが調査の結果明らかになっています。...

っということで教科書に対して例えばこんなツッコミが

東京書籍 日本史A (199ページ)

震災の中で、福島第一原子力発電所が大事故を起こし、放射性物質が大量に放出された

コメント・修正文の例

下線部の「震災のなかで、福島第一原子力発電所が大事故を起こし」は震災との関係があいまいです。

「地震によって発生した津波が原因となり福島第一原子力発電所が大事故を起こし」とするほうがより正確です

清水書院 日本史A (203ページ) 写真の説明

震災で損壊し、放射性物質がもれ出した福島第一原子力発電所

コメント・修正文の例

「震災で損壊し」では地震で損壊した印象が強い。

津波が来る前までは、非常用発電機が作動し炉心が適切に冷却されていたことから、「津波で損壊し」とした方が適切です。

。。 こういう例がたくさん出てきます。

いろいろな報告書のうち、地震で壊れた可能性を指摘しているのは国会事故調報告書です。時系列で報告書や発言を並べてみます。

2012年7月5日 国会事故調 報告書

参考資料②

安全上重要な機器の**地震による損傷はないとは確定的には言えない。**

2014年10月8日 原子力規制委員会 事故の分析 中間報告書

参考資料③

国会事故調報告書において未解明問題として、(中略)
調査、検証が必要であるとされているもの(中略)
本報告書では設備の損傷に関する指摘(中略)について検討を行うこととした。

として、以下5つの課題を検討し、**全て津波が原因と結論**

- ・1号機での小規模漏えいの発生
- ・1号機A系非常用交流電源系統の機能喪失
- ・1号機原子炉建屋4階での出水
- ・1号機において小規模漏えいの発生により逃し安全弁が不作動となった可能性
- ・1号機非常用復水器の作動状況

閣議決定

2015年3月24日 衆議院議員 長妻昭氏の質問主意書に対する答弁書 「福島第一原発の事故原因に関する質問に対する答弁書」

参考資料④

政府としては、
本件**事故の原因の詳細について引き続き検証が必要**であると考えており、
原子力規制委員会において調査等を実施しているところである。
本件事故の原因の詳細の判明時期については、
原子炉建屋等の内部の状況について正確に把握できていないこと等から、
お示しすることは困難である。

2015年4月22日 原子力規制委員会田中委員長会見

参考資料⑤

1Fの事故の原因になったというのは、大体大きなところは分かっています。
基本的には津波が一番大きな、直接的な原因で、ただ、
地震で一部そういう損壊があったかもしれないというような意見を
全く否定するわけではないですけれども、そういう状況にあります。
(中略)
事故の本当の原因を究明していくといっても、(中略)
時間のかかることで、(中略) そう簡単にできることではないので、
これはこれとしてきちっとやっていきたいと思っています。

少しだけ感想を

最後の田中委員長の発言は「津波が原因」「原因究明簡単ではない」と、論理的につながりません。。。今年3月の答弁書(安倍総理大臣名で閣議決定されて提出されているもの)が言うように現在も『原子炉建屋の内部の状況について正確に把握できていない』わけで、前ページで見た原子力学会の「地震は原因ではない」と言い切ってしまう態度はやり過ぎでしょう。今回触れていませんが、新潟県の技術委員会(参考資料⑥)では地震による影響がまだ議論されています。なあってそこまで地震ではない、と言い切りたいのか?という点について国会事故調報告書(参考資料②)は「既設炉への影響を最小化しようという考え」を指摘しています。もし地震で壊れたとなると、それへの対策コストが莫大なものになってしまう、ということだと思います。

地震で原発に何が起きたのか?

それはその後の津波による被害にどのような影響を及ぼしたのか?

こんな疑問が残ったまま作られた「世界最高水準の」規制基準で原発が再稼働されようとしています。

取り返しがつかないことが起こる前に、まず立ち止まることが必要なはずです。

参考資料

①日本原子力学会「新学習指導要領に基づく高等学校教科書の原子力記述に関する調査と提言」

<http://www.aesj.or.jp/information/H26kyokasho-chosa.pdf>

②国会事故調報告書ダイジェスト版「結論の要旨【事故の直接的原因】」

<http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3856371/naiic.go.jp/blog/reports/digest/>

③原子力規制委員会「東京電力福島第一原子力発電所 事故の分析 中間報告書」

http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/kettei/04/04_01.html

④衆議院 第189回国会 質問の一覧140番

http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_shitsumon.nsf/html/shitsumon/kaiji189_1.htm

⑤原子力規制委員会 委員長定例会見 平成27年4月22日 速記録

<http://www.nsr.go.jp/nra/kaiken/index.html>

⑥新潟県 技術委員会 (福島事故検証課題別ディスカッション)

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>